



よし だ つ う し ん

吉田通心

第120号
【2024年9月】

〒950-1475 新潟県新潟市南区戸頭1347-1 TEL:025-372-1138 FAX:025-372-1155

■■この吉田通心は私とご縁のあった方、ご縁をいただきたい方に差し上げている月一人通信です■■

◆おかげさまで継続10年◆

こんにちは。お世話になります。吉運堂の吉田竹史です。吉田通心第120号をお送りいたします。よろしくお願いいたします。

まず、皆様に御礼申し上げます。私自身が社長就任3周年を記念して2014年10月にスタートした「吉田通信」は継続10年で120号に到達。これまで長きにわたりお読みいただき、誠にありがとうございます。この10周年を機に皆様とより「心」で繋がれるように名称を「吉田通心」へと変更いたします。今後も継続して参りますので、引き続き、どうぞよろしくお願い申し上げます。

ところで、今から10年前、2014年の出来事をみなさんはパツと思ひ出せますでしょうか？私自身は何も思ひ出せなかつたので、ちょっと調べてみたところ、御嶽山の噴火があつたり、消費税が5%から8%に引き上げられたり、STAP 細胞問題などがありました。また、この年に流行つていたものは映画『アナと雪の女王』で、この年にヒットした商品のひとつが iPhone6でした。いろいろなことがあつたのは事実ですが、ただ、それより以前からの延長線上にあり、お仏壇やお墓に関して、特別大きな変化はなかつたと記憶しています。

ところが、この10年の中で、特に2020年からのコロナで世の中がガラリと変わりました。社会常識が変わり、お仏壇やお墓を取り巻く環境も大きく変わりましたし、何より、コミュニケーションの方法が完全に変わりました。

コロナがあつたことでデジタルが一気に発展し、様々なコミュニケーションツールが出てきました。結果、アナログ的なコミュニケーションは軽視されるようになってしまいましたが、何だかんだ言つて人と人とのアナログ的なコミュニケーションは大切です。コロナ禍で誕生したデジタルツールは活用しつつ、お客様、それから、社員さんたちとのアナログ的なコミュニケーションは大事にしていければと思つています。

そして、アナログ媒体であるこの吉田通心も、これからも続けていければと思つています。引き続き、どうぞよろしくお願い申し上げます。

ありがとうございます

◆発行者コラム◆

今回もまた最後までお読みいただきまして、どうもありがとうございます！さて、10年一昔とはよく言いますが、10年前、高校生と中学生だつた娘と息子も（立派かどうかはわかりませんが）もう大人です。私自身については、ここ10年でお酒を飲む機会、それから、お酒を飲む量は減つてきたかなと感じています。そのおかげなのか、10年間いって健康で、また、体重も体型も変わつていません。皆さんは、この10年でどんな変化がありましたでしょうか？吉田竹史

■■吉田通心を今後ご希望されない方は、大変お手数ですが025-372-1138までご連絡をお願いいたします。■■

【発行者プロフィール】

名前：吉田 竹史（よしだ たけし）
生年月日：昭和40年8月21日（O型）
出身地：新潟県白根市（現・新潟市南区）
経歴：都内の学校を卒業後、証券会社（水戸 & ニューヨーク）の4年間の勤務を経て吉運堂へ。

趣味：上手くないゴルフ、強くない将棋
（NHKの将棋対局を見ることは好きです）
家族構成：妻、娘、息子



吉運堂



吉田 竹史